



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第163号

2007年6月1日

みなさん、こんにちは。今日から6月ですね。梅雨が近づいているのか、週間天気予報では曇りマークが目立ち始めました。

## ● 第16回 明石原人まつりが開催されました。

5月26日(土)・27日(日)に八木遺跡公園、石ヶ谷公園において明石原人まつりが開催されました。真夏のようなまぶしい太陽の下、矢じり作りと勾玉作りの出前ワークショップを行いました。

矢じり作りでは、尖らせたサヌカイト石でタコ糸を切る工程で、石の切れ味の良さに歓声が上がりました。勾玉作りは、ロウ石に勾玉の輪郭を描くのが難しく困っていた女の子に、隣合わせた男の子が手伝ってくれたり、テントの中の皆で協力しながら作りました。



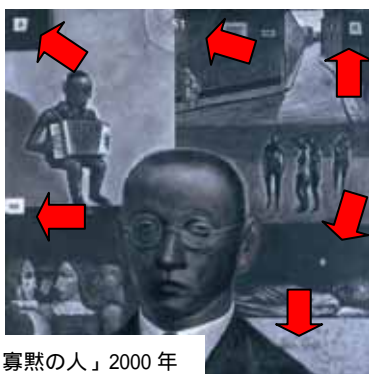
尖らせた石をタコ糸でしばります



はばたんも登場しました



鉛筆のカーブを使って、勾玉の曲線を作っていきます



「寡黙の人」2000年

## ● 第2回「小原先生に聞きました」

小原先生の作品には、数字やアルファベットがよく出てきます。左の作品「寡黙の人」(2000年)には6箇所登場します。これらにはそれぞれ意味があります。例えば男性頭上の数字は制作時の小原先生の年齢です。他にも制作年やイニシャル等が描かれています。「これは何の数字だろう?」と推測しながら絵を見るのも面白いのではないのでしょうか。

明石原人まつりはとてもいいお天気に恵まれました。日焼けして鼻の皮がむけるスタッフもいたほどでした。矢じりも勾玉も材料は「石」ですが、前者はタコ糸をスパッと切るほど鋭く、後者は紙やすりで削れるくらい軟らかいものです。石も様々ですね。